



夢・いっぱい

第2号

令和3年4月21日

○ 2021年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

「はきものをそろえる」～自身をみつめ自信につなぐ～

校長 原田 剛

今年度から愛宕小学校の昇降口やトイレに右の掲示物が貼ってあります。もとは、曹洞宗の開祖道元が履き物を揃える行為を修行に取り入れていたことから、円福寺（長野県）和尚藤本幸邦氏がその教えをもとに詩にしたものと言われています。近年では企業研修や学校教育に取り入れられていることでも知られています。

昨年度、日々の授業参観の際に子どもたちの下足箱や児童用トイレのスリッパを確認していました。きちんと履き物が揃っていると安心感が生まれます。それは、履き物の様子は心の表れだからです。しかし、残念ながら履き物が常に揃った状況になかったことも事実です。

そこで、今年度1学期の始業式では、昨年度以上に子どもたちが落ち着いた学校生活を送ることができるよう、「はきものをそろえる」ことを話しました。

「はきものをそろえる」目的は「揃える」ことではありません。子どもたちには以下を伝えています。



- 履き物が揃っていることを気持ちよいと思えることが大切です。この気持ちが当たり前になると、学校のいろいろなところがきれいになって、気持ちよく過ごせる愛宕小学校になります。
- 履き物（トイレのスリッパ）が揃っていると次に使う人が気持ちよく使えます。履き物を揃える人は次に使う人の気持ちを考えた優しい人です。優しい人が増えると、温かい愛宕小学校になります。
- 自分に自信がなかったり悩みがあったりするときに、履き物を揃え続けていくと、自分にもできるという自信につながったり正しい判断につながったりします。小さなことを続けることが大切です。【上学年向け】

実は、この掲示物、川下中学校に掲示してあるもので、そのコピーをいただきました。小中一貫教育の取組の一つとして継続していきたいと思えます。

i・GIGA情報

「i・GIGA」とは岩国市の ICT 教育環境整備の愛称です。ここでは、本校の実践例や今後の見通しを紹介していきます。

児童用タブレットは、児童一人ひとりに割り当てられています。そこで、新年度になった先日、そのクラス分けと保護カバー付け、名前シール貼りを教職員で行いました。早速、4年1組では、以下の活動を行いました。（以下、学級だよりから抜粋）



まだ、アプリが入っていないので、マップを開いて山口県をさがしました。岩国市や愛宕地区をアップにすると愛宕小学校が見えたり、知っているお店が出たりして、大喜びしていました。「先生、ロシアまで行ってしまいました。」「先生、カナダから帰ってこられませんが、いろいろなハブニング(?)もありましたが、とても楽しんでいました。